

令和6年度 シュウエール宮前区平第2 自己評価表

討議年月日: 令和5年7月29日

公表年月日: 令和6年7月31日

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10			・遊びによって場所を変えたり、人数によって環境を調整したりしている。 ・自由時間にワンフロアで過ごす時はやや狭いが、学習は部屋が分散できる。 ・一軒家の特性を活かして、複数個所への分散等の工夫により、一人あたりのスペースを確保できる。
	2	職員の配置数は適切であるか	7		3	・周りを見渡す上で適切な人数だと感じる。 ・運転できる職員が少ない。 ・利用者数によっては職員が少なめに感じられることもあるが、事前に当日の配置等を工夫し、打ち合わせを行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3		7	・戸建のための階段がある。 ・段差が多い。 ・建物の構造上、バリアフリーにはなっていないが、児童が過ごす上で危険である箇所はクッション材などで保護している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8		2	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9		1	・アンケートのみならず、普段から保護者の意見に耳を傾け、HUGシステムの実用化やLINEの導入を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		3	・過去の内容も公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6		5	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		1	・内部研修がある。 ・月1回、必ず研修を行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9		1	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10			・毎日話し合いながらプログラムを考えている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10			・その日のうちに振り返りをし、記録を残して反映させている。 ・週ごとにベースを作り、内容はその日通所する児童に合わせて練り直している。 ・多種多様なプログラム(ビジョントレーニングやSSTなど)の実施を心がけている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10			・工作や調理等計画を立てて行っている。 ・今夏より、長期休暇の活動内容の一層の充実に向けた取り組みを実施している。 ・時間の設定や外出、室内での活動など、利用児童や取り組み時間に応じて工夫して設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			・毎日、個別と集団の活動を組み合わせている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10			・毎日実施している。どの職員でも理解できるように進行している。 ・丁寧に行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10			・毎日実施している。どの職員でも理解できるように進行している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			・web上の統一フォーマットを用いて記録を作成することで、個人ごとの質量のばらつきが妨げている。 ・ダブルチェックをしたり、読み返しをしたりしている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	10			・児発管の主導により、5領域とのつながりを明確化することも意識されている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9		1	・機会は少ないが、適切に対応できている。

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10			直接的に定期で連絡を取り合うことは少ないが、必要に応じた対応は行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	1	3	該当者がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7		3	保護者を通しての情報共有がメインになっており、直接の連絡はあまりない。 ・機会は多くないが、必要に応じて行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7		3	該当者がいない。 ・今のところ機会は少ないが、必要に応じて行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		3	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	7	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	6	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			送迎の際、保護者との情報交換を行っている。 ・送りの際、保護者との直接対話の機会をおろそかにしないことは当教室の長所である。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5		5	・現段階でプログラム化されたペアレントトレーニングの実施はないが、保護者からの相談等に対するの助言は適宜行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	8	・参観の機会を設けたり、個別の見学希望の受け入れを行ったりしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		3	・定期的な会報の形ではないが、重要な告知は必ず書面でも行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	10			・鍵付きロッカーなどでしっかり保管をしている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			・HUG、SMS、メール、電話など、保護者が使いやすいツールを使用してもらっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	9	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10			・研修を行ったタイミングで改めて周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10			・訓練時間を取り、児童と一緒にしている。 ・防災頭巾の被り方など、詳細な訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10			・日々起こるケースに対しても虐待の観点を取り入れ、防止に繋げている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10			・おやつ購入時に成分表を確認し、メモを付けている。提供時にも札を貼り、全職員がわかるようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10			